



# 古代オリエント博物館 自由学校

## 2017(平成29)年度 前期(4~9月)

### 受講生募集中!!

※前年度の受講生で出席ボードにて継続申し込みをされた方は、あらためて申し込む必要はありません。キャンセルする場合はご連絡ください。

#### ■古代エジプトの壁画を読み解く

講師：村治 圭子 (日本オリエント学会 会員)

エジプトには、彩色された美しい墓壁画が残されています。壁画のテーマも人々の生活から宗教まで変化に富んでいます。墓の内部をスライドで紹介しながら、古代エジプト人に近づいてみます。



ブドウ棚を模した天井 (セネフェルの墓)

- 前期4回
- 第4月曜日 15:00~16:30
- 4/24, 5/22, 6/26, 7/24
- 受講料：4回分 7,400円

#### ■文字論入門：古代エジプト文字編

講師：永井 正勝 (東京大学 特任研究員)

古代エジプトの文字とその表記法について文字論の立場から詳説します。原エジプト文字から神官文字と聖刻文字が生まれ、神官文字は民衆文字を経てギリシャ文字やコプト文字へと引き継がれました。世界の文字史の第一歩を俯瞰する講座です。



句点を付した神官文字資料

- 前期5回
- 日曜日(変則) 10:30~12:00
- 5/14, 5/21, 6/11, 7/2, 7/16
- 受講料：5回分 9,300円

#### ■メソポタミアの神々

新規!

講師：中田 一郎 (古代オリエント博物館 前館長)

講座の前半でメソポタミアの神々とは何か、飲み食いする神々、礼拝とは何か、浮気をする守護神、などについてお話しし、後半でシヤマシュ、エア、ダガン、アダドなど具体的な神々を取り上げます。



エア神

- 前期4回
- 第3土曜日 13:00~14:30
- 4/15, 5/20, 6/17, 7/15
- 受講料：4回分 7,400円

#### ■古代エジプトの埋葬習慣

講師：和田 浩一郎 (國學院大学 兼任講師)

古代エジプト人はなぜ遺体をミイラにしたのでしょうか。ツタンカーメン王はなぜ黄金のマスクをつけているのでしょうか。素朴な疑問から、古代エジプトの埋葬習慣に込められた意味を探っていきます。



青銅製猫像

- 前期5回
- 第2日曜日 14:30~16:00
- 5/14, 6/11, 7/9, 8/20, 9/10 (※8月のみ第3日曜)
- 受講料：5回分 9,300円

★講座参考テキストとして下記単行本を使用します。  
① 和田浩一郎著 ポプラ新書『古代エジプトの埋葬習慣』定価 896 円(税別)  
※受講料には上記テキスト代は含まれていません。

#### ■シルクロードの誕生とその未来

講師：久米正吾 (東京藝術大学 特任講師)

新規!

森美智代 (東京藝術大学 特任研究員)  
平諭一郎 (東京藝術大学 特任講師)  
井上隆史 (東京藝術大学 客員教授)

古来、シルクロードでは様々な人々が出会い、新たな文化を生み出し続けてきました。その成り立ちとこれからの考古学、美術史、文化財保存、ドキュメンタリー制作の各分野の専門家の視点から探っていきます。



アフガニスタン、パルミヤンのバザール

- 前期6回
- 隔週土曜日 15:10~16:40
- 5/13, 5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22
- 受講料：6回分 11,000円

#### ■中央アジアの美術を読む

講師：前田 たつひこ (平山郁夫シルクロード美術館 学芸員)

仏像を創造し、塑像や壁画を展開した仏教美術、中央アジア諸民族の多様な文化世界を映した遺品などについて、歴史的・文化的側面、発掘成果などをまじえて解説していきます。



アフガニスタン、フンドキスタン出土の神像

- 前期6回
- 隔週土曜日 15:10~16:40
- 5/20, 6/3, 6/17, 7/1, 7/15, 7/29
- 受講料：6回分 11,000円

#### ■東欧・バルカンの先史文化を学ぶ

講師：千本 真生 (古代オリエント博物館 共同研究員)

「ヨーロッパの火薬庫」というイメージが先行することも多い東欧・バルカン半島。人々とモノが複雑に交差してきたこの地域の歴史や、日本で見聞きすることの少ない先史文化について、現地調査・研究例を紹介しながら解説します。



ルーマニア出土土偶「考える人」前5千年紀前半

- 前期4回
- 第2土曜日 13:00~14:30
- 5/13, 6/10, 7/8, 8/12
- 受講料：4回分 7,400円

#### ■初心者のためのシュメル学入門

講師：小林 登志子 (日本オリエント学会 会員)

粘土板に楔形文字で記された記録から最古のシュメル文明の世界を探訪してみませんか。都市国家時代の歴史を中心にわかりやすく紹介します。毎回、読みきり形式で説明します。



印章 (月神に謁見する図)

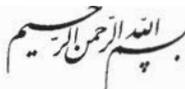
- 前期6回
- 日曜日(変則) 10:30~12:00
- 5/7, 6/4, 6/18, 7/9, 7/23, 8/6
- 受講料：6回分 11,000円

★講座テキストとして下記単行本2冊を使用します。博物館売店でも販売しています(1割引)。  
① 小林登志子著 中公新書『シュメル 人類最古の文明』定価 940 円(税別)  
② 岡田明子/小林登志子著 中公新書『シュメル神話の世界-粘土板に刻まれた最古のロマン』定価900円(税別)  
※受講料には上記テキスト代は含まれていません。

#### ■ペルシア書道初級・中級

講師：角田 ひさ子 (拓殖大学言語文化研究所 講師)

イランの美しい書の一つ一つ紐解きながら、筆(ガラム)で書いてみましょう。ペルシア語を知らなくても大丈夫です。アルファベット、一行書き、二行書き練習の中で基本文字の形を学びながら、作品へとつなげていきます。



慈悲深き慈愛あまねき神の御名において

- 前期6回
- 第4日曜日 10:30~12:00
- 4/23, 5/28, 6/25, 7/30, 8/27, 9/24 (※7月は第5日曜)
- 受講料：6回分 11,000円

★下記のものが揃いましたらお持ちください。  
① 竹2-3本 (鉛筆程の太さ。習字筆やのれんの竹でも良い)  
② 墨汁とそれを入れる蓋付容器(高さ5cm程の小さな容器)  
③ 糸くずをたくさん。または海綿や布(筆に墨がぼたぼたつかないように容器に詰める)  
④ 小刀(竹を削りペンを作る)  
⑤ つるつるの紙(カレンダーの裏など)

#### ■ペルシア書道上級

講師：角田 ひさ子 (拓殖大学言語文化研究所 講師)

自由学校中級終了者、あるいはペルシア書道の基本練習経験者が対象です。書道構成上のさまざまな規則を学びながら、作品を書いていきます。

- 前期5回
- 第4日曜日 13:30~15:00
- 4/23, 5/28, 6/25, 7/30, 8/27 (※7月は第5日曜)
- 受講料：5回分 9,300円

#### お申し込み方法

自由学校はどなたでも入学、受講することができます。

※やむを得ない事情で、講座を中止または日程等が変更される場合があります。ご了承ください。

#### 1. 自由学校入学

◎受講にあたっては、入学が必要となります。入学の有効期間は1年間で、その期間中に自由学校が開催する講座は何講座でも受講できます。

入学金：4,000円(税込) ◎自由学校の受講生は、古代オリエント博物館友の会会員と同じ特典がうけられます(博物館入館無料、売店割引など)。(ご入学の月から1年間有効) ◎古代オリエント博物館友の会会員の方は、あらたに自由学校に入学する必要はなく、入学金は免除になります。

#### 2. 講座お申し込み

下記①②のいずれかでお申し込みください。 申込締切：各講座初日の一週間前まで

← 人気講座はすぐ満員となりますので、お早め!

① 古代オリエント博物館受付で申込用紙に記入する。受付時間10:00~16:00 ※自由学校にはじめて申込まれる方は、アドレス間違いを防止するためなるべくメールでお申し込みください。または受付で申込後、メールをお送りください。

② 「メール」で申し込む。(メールを使用していない方はハガキも可。ただし、緊急連絡時(急な日程変更等)に連絡が遅くなりますことをご了承ください)

「2017年度前期自由学校申し込み」と明記し、次の(1)~(8)を記入し、下記自由学校宛に送付する。

(1)お名前(ふりがな)、(2)郵便番号、ご住所、(3)電話番号、(4)受講希望講座名、(5)自由学校をどこで知ったか、(6)友の会会員番号(現在会員の方)  
(7)メールアドレス、(8)緊急時の連絡先(携帯電話、メール、ハガキ宛先など)

#### 3. 受講料、入学金の手続き

受講料は講座初日に受け付けます(開講初日は少し早めにお越しください)。入学手続きも当日受け付けますが、事前に入学することも可能です。

#### 4. 開講通知

各講座、定員(20名)になり次第締切ります。締切状況はホームページまたは電話でご確認ください。お申し込みいただきながら、先着順で締切になった場合は(お申し込み後一週間以内に)ご連絡いたします。また、人数が集らず開講されない場合もあります。その場合は遅くとも講座初日の1週間前迄にご連絡いたします。それ以外は特に連絡はしません。講座初日をご確認の上、博物館受付にお越しください。